

●国土交通大臣賞受賞！

この度、「第9回 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015」（公財 日本生態系協会主催）にて当園の園庭が「国土交通大臣賞」を受賞致しました。同コンクールは、自然豊かな環境づくりに取り組んでいる全国の保育園・幼稚園・小・中・高・大学がエントリーし、専門家の審査により決定されるものです。国土交通大臣賞は「実践モデルとなる優れた取り組みを行うもののうち、特に人と自然が共存するまちづくりにつながる観点で秀でているもの」が選出されます。また特筆すべきは、過去のコンクールを通じ、東京から初めての大臣賞受賞であったということです。八王子の豊かな自然に感謝をしなければいけません。

当園はこれまで、旧園庭にて2011年に「小川たんぼビオトープ（里山ガーデン）」で、2013年に「築山ビオトープ（冒険の丘）」で生態系協会賞を受賞しておりましたが、今回、新園地購入から4年半、移転から僅か1年半で最高賞を受賞することになりました。これも、園の方針にご賛同頂き、労作親睦会や鉄腕クラブをはじめ、園庭の自然環境の維持、整備にご理解、ご協力を頂きました保護者の皆様、地域・関係者の皆様のお陰と、心より感謝申し上げます。

受賞により日々の保育が大きく変わるわけではありませんが、当園の思い描く「理想の環境」と「この環境に合った保育の実現」はまだ道半ばです。この賞を励みに、今後も「子どもにとってより身近でより本物の自然環境」「よりよい保育」のために尽力していきたいと考えております。どうぞ引き続き、保護者の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

★別紙でご案内のように、来年1月31日（日）に東京大学 伊藤謝恩ホールにて、授賞式と発表会があり、当園も活動内容の発表をおこないます。遠方になりますが、ご都合がよろしい方はどうぞお越し下さい。（別紙用紙にご記入の上、FAXで日本生態系協会宛に直接お申し込み下さい）

2015年11月16日(月)発表

全国学校園庭ビオトープコンクール2015

子どもたちのために身近な自然をつくり、保育や幼児教育、環境教育・ESD、また、アクティブ・ラーニングを展開している「実践モデル校・園」が、このたび決定しました。

結果速報

★BIOは「生きもの」、TOPは「場所」の意味。
BIOTOP「ビオトープ」は、地域本来の野生の生きものたちが生活する場所のことです。

2015年11月16日(内)発表

全国学校・園庭ビオトープコンクール2015

結果速報

子どもたちのために身近な自然をつくり、保育や幼児教育、環境教育・ESD、また、アクティブ・ラーニングを展開している「実践モデル校・園」が、このたび決定しました。

上位5賞

学校・園庭ビオトープの実践モデル校・園となる、優れた取り組みを行う学校・園を表彰するものです。そのなかでも際立って秀でていると評価された、下の5つの賞が決定しました。

★上位5賞の位置付けには優劣はなく、また、発達段階の枠にとらわれるものでもありません。

★協会賞、奨励賞の受賞者は、ウラ面をご覧ください。

文部科学大臣賞 (学)雪見ヶ丘学園 井上幼稚園(愛知県)

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うもののうち、特に体験活動や学習活動の内容・成果で秀でているものを表彰します。

環境大臣賞 豊田市立 五ヶ丘東小学校(愛知県)

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うもののうち、特に野生の生きもののすむ「ビオトープ」の賞が秀でているものを表彰します。

国土交通大臣賞 (学)東京内野学園 東京ゆりかご幼稚園(東京都)

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うもののうち、特に人と自然が共存するまぶしくににつながる観点で秀でているものを表彰します。

ドイツ大使館賞 (学)奈良学園 奈良学園中学校・高等学校(奈良県)

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うもののうち、学校・園庭ビオトープを題材にユニークな学習・体験活動を行っているものを表彰します。

日本生態系協会会長賞 琉球大学博物館(風樹館)(沖縄県)

学校・園庭ビオトープの実践モデルとなる優れた取り組みを行うもののうち、特に地域とのパートナーシップの観点で秀でているものを表彰します。

●景色が変わります

園庭の周りの森の景色が段々と変わってきました。この森（正しくは雑木林）は落葉広葉樹が殆どで、季節に応じ景色が大きく変化します。これから紅葉のグラデーションが楽しめますが、おそらく終業式には葉が落ち枝の隙間から向こうの空がよく見えることでしょう。いわゆる里山の雑木林にある樹種が主で、コナラ、クヌギ、ヤマザクラ、イヌシデ（別名：ソロ）、エノキ、ミズキ、エゴノキ、ハウノキ、ヤマボウシ、フジ、カエデ（モミジ）などで構成されています。たくさんのドングリが実り、多様な生物が棲



●オオタカ、フクロウ、遊びに来ています！

様々な生きものが棲む森。昨年はこの時期にムササビが遊びに来ていましたが、最近
は夜になるとフクロウ、オオタカも遊びに来ます。オオタカは生態系ピラミッドの頂点
に位置し、多様な生きものが棲むことのできる豊かな森があるという証拠でもあります。
この豊かな環境を、子ども達が大きくなって残してあげたいものです。
彼らを身近に観察できるよう、大きめの巣箱も子ども達と作っていきたいと思います。

●冬鳥に親しむ

前述の大きな鳥だけで無く、この森には様々な小鳥が棲みついています。特にこれからの冬のシーズンは、葉が落ち、鳥の観察にはとてもよい時期です。この冬は、鳥に詳しい方に教えて頂きながら、子ども達と双眼鏡を手に鳥の観察をしたいと思います。尚、園の各所に近隣に棲む鳥の写真を掲示致します。これは保護者の仁科さんが撮影された物です。是非ご覧になって下さい！



●マラソン

朝晩の冷え込みを感じるようになりました。毎朝の外遊びの中では、マラソンもはじまりました。園庭の芝生グラウンドの周りを音楽に合わせて走ります。速く走ることは無く、最後まで止まらずにマイペースに走ることを目標にしています。ペースの速い年長さんでは3分弱の曲の間に約4周走ります。

子どもは風の子。寒いからといって室内で縮こまるのではなく、外で遊んだり走り回ったりすることで、体が温まり、爽快感を与えます。みんなで一緒に走ることで気持ちの上で一体感も与えてくれます。今後は年長などは斜面も使ってトレイルランコースを走れるようにしていきたいと思っています。



●お歌や楽器遊びが、舞台の上での発表活動へと移行していきます。12月12日の音楽会に向け、子どもたちは、お父様、お母様をはじめ、たくさんのお客様に見て、聴いて頂くことを楽しみに、合唱、合奏に取り組んでいます。音楽会、どうぞお楽しみに。



秋祭り「ゆりかごの自然で思い切り遊ぼう！」

今年度の秋祭りは、収穫際の要素を盛り込みながら、幼稚園の活動紹介、自然体験、室内の様々なコーナーなどを楽しんで頂きました。初出店となるカレーや焼き芋では長蛇の列ができ随分とお待たせしてしまいましたが、反省を踏まえ、来年の対策を練って参ります。（がじゅまるの樹のご主人も申しておりました！）エアーランド、ボールプールでは役員さんに、脱穀体験ではお父さま有志の方にご協力を頂きました！ありがとうございました！



ダンス、バンドの皆さん
ありがとうございました！

いもほり会

今年も津久井の井上さんの畑に伺いました。お手伝い頂きましたお父様、お母様、ありがとうございました。今年は不作のようでしたが、これも自然。井上さんの畑は、残念ながらいも掘り用のいも栽培は今年で終了のようです。これまで長い間、ありがとうございました！ 来年については、検討中です！



やきいも会

キャンプファイヤーサークルに軽トラック4台分の木材を1時間30分程燃やし、炭状のおき火ができたところで全園児の芋をのせ、落ち葉やススキをかけ、保温性を高めて蒸し焼きに…。途中薪が足りなくなり、園児みんなで薪運びをしました。30分から40分で焼き上がり。大たき火からいもを取り出す様子を子ども達も真剣に見守りました。とろけるような甘い焼きいもをいただきました！



年長 お米づくり もみすり～精米～おにぎりパーティー

先月脱穀した稲をすり鉢でもみすり、ピンで精米、唐箕（とうみ）で粳殻・糠などを飛ばし、ようやく白米になりました！地道な活動ですが、一粒一粒のお米の大切さがわかります。機械を極力使わないで、手作業、或いは伝統的な農耕具を使っておこなってきました。シンプルな構造、作業が一番子どもにも伝わりやすいものです。

そして待ちに待った「おにぎりパーティー」は「青空キッチン」で！ 畑で育てたカブを収穫し、鰹節を削り、お味噌汁を作りました。お米は自分たちでといて、釜で炊きました。ふっくらツヤツヤご飯でおにぎりを二つにぎりました。鮭と昆布！とても美味しくいただきました。8ヶ月間、よくがんばりました！！



ピンで精米。 唐箕で粳殻を飛ばす。 にぎって、、、できあがり！美味しい！
★米作りには日本の伝統文化、特に食や自然に対する素晴らしい考え方が沢山つまっています。例えば、「いただきます」の精神を体験を通して理解することが出来ます。「様々な命に感謝し、自然の恵みに感謝し、作ってくださった方、お世話になった方々に感謝し、いただきます。」 一粒を育てる大変さを、子ども達のその手が知っています。一粒も残さないように、おいしく頂きました！

年少ドングリ栽培（東北復興プロジェクト）

東日本大震災の津波で失われた森をもう一度…。こうした思いで、被災した東北のドングリを全国の有志の幼稚園がプランターで育てて、また東北の地に定植する…。という活動を行っています。年少さんがドングリを植え、年長になったら、東北に送ります。 ゆりかごの森のように、元気に育つといいですね。



11月の活動いろいろ



年少 相模川ふれあい水族館 年長 つどいの森～片倉城跡公園 キャベツ収穫！⇒給食へ



里芋収穫！ 掘って、洗って、茹でて、みんなで頂きました！ 取れたてはやはり美味しい！



年中 けんちん汁クッキング 沢山の野菜を切って釜でぐつぐつ…青空レストランで頂きました！



アトリエ(陶芸製作)

モルモット「うみちゃん」

サッカークラブ大会準優勝！



今月のその他の活動などは
こちら↑からご覧下さい。
(ブログ「今日のようちえん」)